



取扱説明書
HUSQVARNA AUTOMOWER®
520/550 EPOS



JA, 日本語

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

目次

1 安全性	
1.1 安全性の定義.....	3
1.2 一般的な安全注意事項.....	3
1.3 設置の安全注意事項.....	4
1.4 操作のための安全注意事項.....	4
1.5 メンテナンスのための安全注意事項.....	4
1.6 バッテリーの安全.....	4
1.7 本製品の持ち上げと移動.....	5
2 はじめに	
2.1 サポート.....	6
2.2 製品の説明.....	6
2.3 システムの説明.....	6
2.4 システムの概要.....	7
2.5 製品の概要.....	8
2.6 製品に表記されるシンボルマーク.....	8
2.7 バッテリーのマーク.....	9
2.8 アプリ内の記号.....	9
2.9 取扱説明書全般.....	10
3 Installation（設置）	
3.1 はじめに - 設置.....	11
3.2 設置用の主要部品.....	11
3.3 設置準備.....	11
3.4 リファレンスステーションの設置場所につ いて.....	11
3.5 チャージステーションの設置場所について.....	11
3.6 電源装置の取り付け場所について.....	13
3.7 地図上のどこに物体を設置するかを検討する....	13
3.8 本製品の設置.....	15
4 設定	
4.1 スケジュール.....	22
4.2 システムチェック芝刈りの使用方法.....	22
4.3 不規則な芝刈りの使用方法.....	22
4.4 刈高.....	22
4.5 パターン.....	22
4.6 操作.....	23
4.7 アクセサリー.....	23
4.8 全般（Bluetooth® のみ）.....	24
4.9 セキュリティ.....	24
4.10 Automower® Connect（Bluetooth® のみ）.....	24
4.11 メッセージ.....	25
4.12 芝刈りプロファイル.....	25
4.13 無線ファームウェアのダウンロード （Firmware over the air FOTA）.....	25
5 Operation（操作）	
5.1 メインスイッチ.....	26
5.2 本製品の始動方法.....	26
5.3 動作モードの〔Start（開始）〕を選択する.....	26
5.4 動作モード - Park（駐車）.....	26
5.5 本製品の停止方法.....	27
5.6 本製品をオフにする方法.....	27
5.7 バッテリーの充電.....	27
6 メンテナンス	
6.1 はじめに - メンテナンス.....	28
6.2 メンテナンスのスケジュール.....	28
6.3 製品の清掃.....	29
6.4 ブレードの交換.....	30
6.5 ホイールブラシの交換.....	30
6.6 バッテリー.....	30
6.7 冬期の保守.....	30
7 トラブルシューティング	
7.1 メッセージ.....	32
7.2 チャージステーションの LED インジケー タランプ.....	39
7.3 本製品の LED インジケータ.....	39
7.4 症状.....	40
8 搬送、保管、廃棄	
8.1 搬送.....	43
8.2 保管.....	43
8.3 廃棄.....	43
9 主要諸元	
9.1 主要諸元.....	44
9.2 登録商標.....	46
10 日本市場に適用可能	
10.1 コンプライアンス要件.....	47

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みにになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。
- 本製品の損傷および車両や人身事故を防ぐため、公共の道路や通路を横断するような作業エリアや輸送経路を設置しないでください。
- 人が本製品に気づかないような場所では、本製品を使用しないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- appDrive を使用して本製品を手動操作しているときに、走らないでください。必ず歩き、斜面では足を確保し、常にバランスを保つようにしてください。appDrive を使用して本製品を操作しているとき

きは、必ず丈夫な靴と長ズボンを着用してください。

- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。本製品に不具合がある場合は使用しないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医師にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源をコンセントに接続する場合は、トリップ電流が最大 30mA の漏電遮断器（RCD）を使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、「廃棄 43 ページ」を参照してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水/中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。
- 設置手順（作業エリアの指定を含む）に従ってください。参照： *Installation*（設置） 11 ページ。
- 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照： *Operation*（操作） 26 ページ。
- 雷雨の危険性がある場合は、Husqvarna では、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正のスペアパーツを使用します。「メンテナンス 28 ページ」を参照してください。
- 質量、寸法、騒音排出値などの主要諸元については、「主要諸元 44 ページ」を参照してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。

- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。
- 電氣的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 動作温度および保管温度は 0~50 °C / 32~122 °F です。充電の温度範囲は 0~45 °C / 32~113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷するおそれがあります。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 人がつまずくおそれがあるエリアには、チャージステーションを設置しないでください。
- チャージステーションおよびアクセサリーは、可燃物から 60 cm (24 インチ) 以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- アリなどの害虫や害獣がいない場所にチャージステーションを設置してください。
- 米国/カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合、感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル (RCD) に取り付けてください。
- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。「本製品をオフにする方法 27 ページ」

を参照してください。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。「スケジュール 22 ページ」を参照してください。

- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードは障害物に当たると損傷する可能性があります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。「本製品の停止方法 27 ページ」を参照してください。
- 本製品、チャージステーション、またはリファレンスステーションの上に物を置かないでください。
- **[STOP]** ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリングラーと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリングラーが同時に動作しないようにしてください。「スケジュール 22 ページ」を参照してください。
- ポップアップスプリングラーが設置されている場所に輸送経路を設けないでください。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動作させないでください。例えば、大雨で水たまりができている場合などです。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発し

たり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。

1.7 本製品の持ち上げと移動

本製品を作業エリアに安全に出入りさせるには、本製品を持ち上げたり、appDrive を使用して操作したりできます。「appDrive 26 ページ」を参照してください。

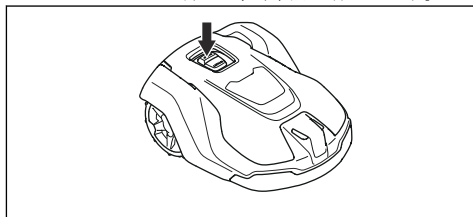


警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。**メインスイッチ**が [0] の位置にセットされている場合、本製品は無効になります。

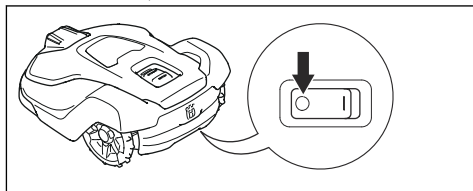


注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品が損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. **メインスイッチ**を [0] の位置にセットします。



3. 本製品を持ち運ぶ際は、ハンドルを持ち、ブレードディスクを身体に近づけないでください。

2 はじめに

製造番号：

製品番号

PIN コード：

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

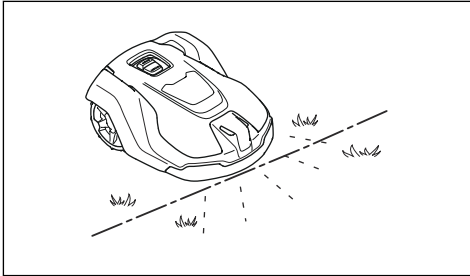
2.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。「サポート 6 ページ」を参照してください。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。本製品は、バッテリーの充電残量が低下するか、作業エリアの芝刈りが終了するまで動作し、チャージステーションに移動します。本製品の動作は、不規則または規則的なパターンに設定できます。仮想境界は、本製品が稼動可能な作業エリアを指定します。仮想境界に近づく、本製品の衛星受信機がそれを検知します。本製品が障害物に衝突したり、仮想境界に接近したりすると、本製品は新しい方向を選択します。



作業者は Husqvarna Fleet Services™ および Automower® Connect アプリで動作設定を選択します。アプリには、選択した動作設定、可能な動作設定、および本製品の動作モードが表示されます。

2.3 システムの説明

EPOS™ を使用して仮想境界を設置する場合、本製品は、衛星と修正データを使用して移動します。修正データ

は、Husqvarna® Cloud またはリファレンスステーションを介して受信します。リファレンスステーションは、Husqvarna® Cloud に接続できない場合に使用できるオプションのアクセサリです。リファレンスステーションは、リピータとして操作でき、リファレンスステーションのネットワークを作成します。リピータは、より広いエリアで使用できます。

注記： 一部の国および地域は、リファレンスステーションまたは Husqvarna® Cloud を介した修正データに対応していません。詳しくは、最寄りの Husqvarna 販売店までお問い合わせください。

設置するため、本製品はアプリ内の appDrive を使用して操作します。通過点が追加されて、アプリ内の地図が作成されます。作業エリアとは、本製品が作動し、芝を刈るエリアです。本製品が入れない進入制限ゾーンを作成することもできます。チャージステーション前部にはドッキングポイントがあります。これは、本製品がチャージステーションとの間を移動するために使用されます。ドッキングポイントと作業エリアの間を移動するには、輸送経路が必要です。輸送経路を移動する際に、本製品は芝を刈りません。「システムの概要 7 ページ」を参照してください。

2.3.1 芝刈り方法

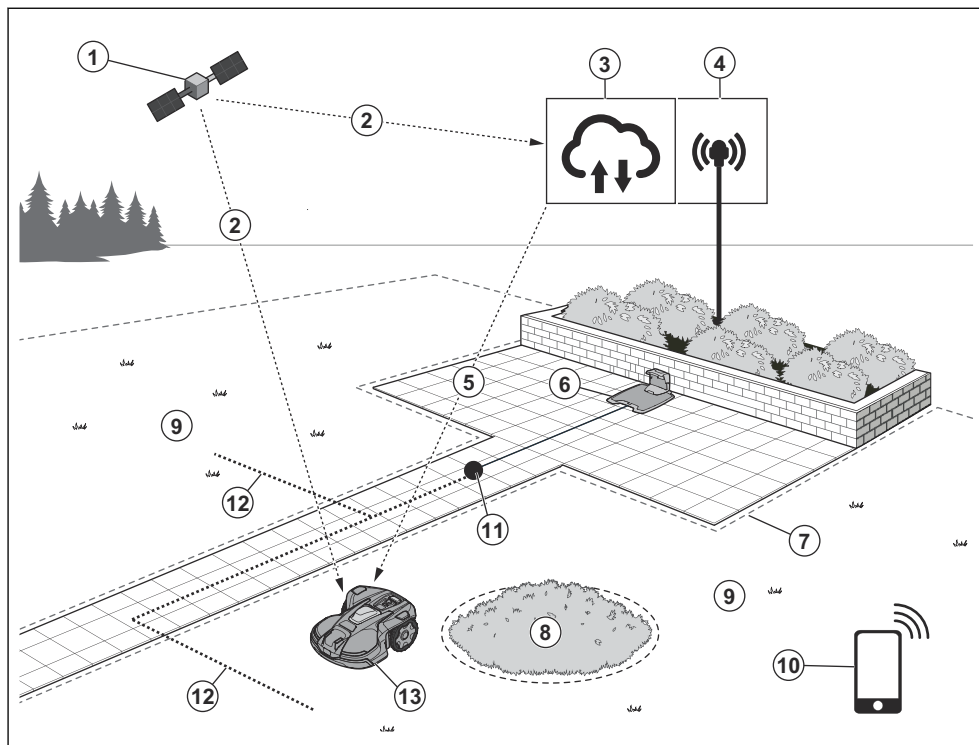
頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を改善し、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

2.3.2 接続性

Husqvarna Fleet Services™ は、アプリおよび Web (www.husqvarna.com) で利用できるクラウドソリューションです。すべての製品を Husqvarna Fleet Services™ に追加して、製品の概要を把握したり、製品を管理したりできます。「」を参照してください。

Automower® Connect は、本製品の設置および操作設定の選択に使用できるアプリです。「Automower® Connect 17 ページ」を参照してください。

2.4 システムの概要

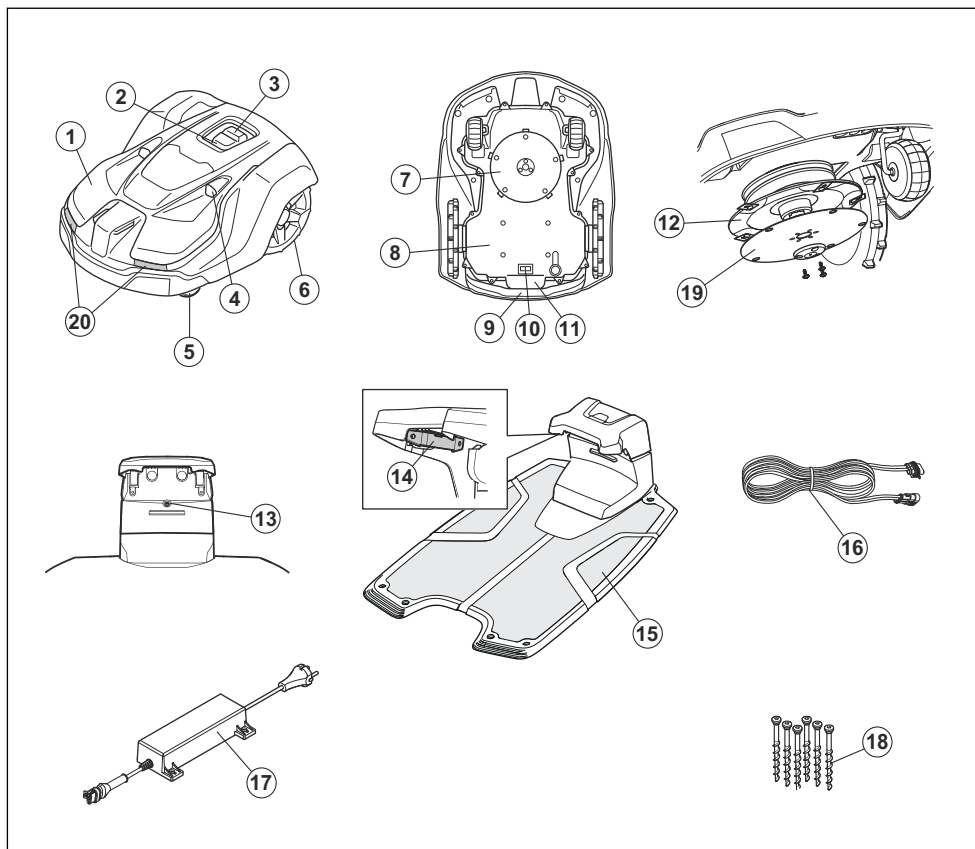


- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 衛星 | 8. 進入制限ゾーン |
| 2. 衛星信号 | 9. 作業面積 |
| 3. Husqvarna® Cloud | 10. モバイルデバイス ² |
| 4. リファレンスステーション ¹ | 11. ドッキングポイント |
| 5. 修正データ | 12. 輸送経路 |
| 6. チャージステーション | 13. ロボット芝刈機 |
| 7. 仮想境界 | |

¹ オプションのアクセサリ（別売）。

² 同梱されていません。

2.5 製品の概要



1. 本体
2. 製品の LED インジケータランプ
3. STOP/START ボタン
4. 超音波センサー³
5. フロントホイール
6. リヤホイール
7. カッティングシステム
8. 電子部品、バッテリー、モーターが搭載されたシャーシボックス
9. ハンドル
10. メインスイッチ
11. 銘板（製品識別コードを含む）
12. ブレードディスク
13. チャージステーションの LED インジケータランプ

14. 接触板
15. チャージステーション
16. 低電圧ケーブル
17. 電源⁴
18. チャージステーション取り付けネジ
19. スキッドプレート
20. ヘッドライト

2.6 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。しっかりと確認してください。

³ Automower® 550 EPOS 専用。

⁴ 外観は市場によって異なる場合があります。



警告：本製品を使用する前に説明書をお読みください。



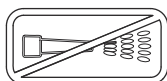
警告：本製品を操作したり、持ち上げたりする前に、本製品をオフにしてください。



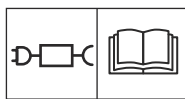
警告：操作時は、本製品から安全な距離を保ってください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に乗らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。



このシンボルの横にある定格ラベルに記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



本製品は EU 指令適合製品です。



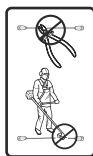
本製品は UK 指令適合製品です。



本製品は、通常のご家庭ゴミとして処分することはできません。地域の法的要件に従って製品をリサイクルしてください。



シャーシには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーシは、専門的な方法で再度密閉する必要があります。このため、シャーシは、必ず認定サービス技術者が開けるようにしてください。シールが破れていると、製品全体または部品の保証が有効でなくなる可能性があります。



低電圧ケーブルは短くしたり、延長したり、接続したりしないでください。

低電圧ケーブルの近くでトリマーを使用しないでください。ケーブルの敷設場所で際刈りをする場合は、十分に注意してください。

2.7 バッテリーのマーク



警告：リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください。

2.8 アプリ内の記号



本製品が受信する修正データのステータスを示します。



EPOS™ 確認済みのステータスです。本製品の位置と方向が正確な状態です。本製品を自動操作したり、地図オブジェクトを設置したりするのに必要です。



EPOS™ アクションが必要なステータスです。本製品の位置は正確ですが、正確な方向を取得するために、手動または自動で製品を操作する必要があります。



EPOS™ が検索中のステータスです。本製品の位置が正確ではないため、正確な位置を取得するために衛星信号と修正データを検索しています。

2.9 取扱説明書全般

本取扱説明書では、読みやすいように次の表記規則を使用しています。

- *斜体*で記載されたテキストは、Automower® Connect アプリのテキストであるか、取扱説明書の別のセクションを参照していることを示します。
- **太字**のテキストは、本製品または appDrive のボタンを示します。

3 Installation (設置)

3.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には以下の部品が必要です。

- 自動で芝刈りを行うロボット芝刈機。
- 本製品を充電するチャージステーション。
- チャージステーションおよび 100 V~240 V 電源コンセントに接続した電源。
- リファレンスステーション⁵：衛星信号を受信し、ロボット芝刈機に補正データを送信する。
- 本製品の設置および設定を行うための Automower® Connect アプリを搭載したモバイルデバイス。

3.3 設置準備



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。



注意： 設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。こうすることで、チャージステーション、リファレンスステーション、仮想境界の設置位置の検討が容易になります。
- 青写真に、チャージステーション、リファレンスステーション、メンテナンスポイント、輸送経路、作業エリアと進入制限ゾーンの仮想境界を設置する場所をマークします。
- 本製品が動作する作業エリアの上空に視野を遮るものがないことを確認します。
- Husqvarna® Cloud を介して EPOS™ を使用して設置する場合は、本製品が作業エリア全体で修正データを受信できることを確認します。

⁵ 別売り。

- リファレンスステーションを使用して設置する場合は、作業エリアのすべての場所で、本製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できることを確認します。

注記： リファレンスステーションと本製品の間に物体がある場合、最大距離は減少します。

- 芝生の穴を埋めて水平にします。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 5 cm / 2 インチ以下にする必要があります。

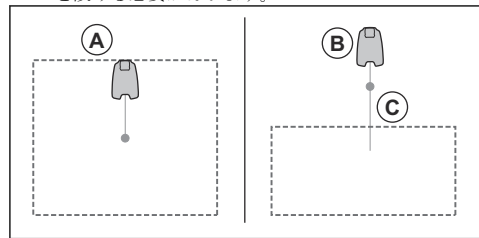
注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

3.4 リファレンスステーションの設置場所について

リファレンスステーションの設置場所に関する指示を読み、理解してください。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。

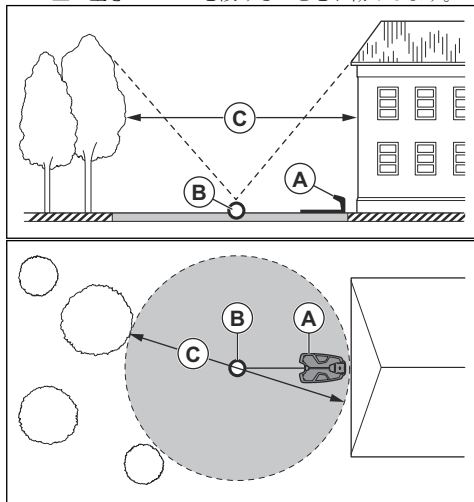
3.5 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションは作業エリア内に置くことも、作業エリア外に置くこともできます。チャージステーションを作業エリア (A) に設置する場合、輸送経路は不要です。本製品がチャージステーションのドッキングポイントにあるときに、それらが完全に作業エリア内である場合、輸送経路は不要です。チャージステーションとドッキングポイント (B) が作業エリア内にはない場合は、輸送経路 (C) を設ける必要があります。



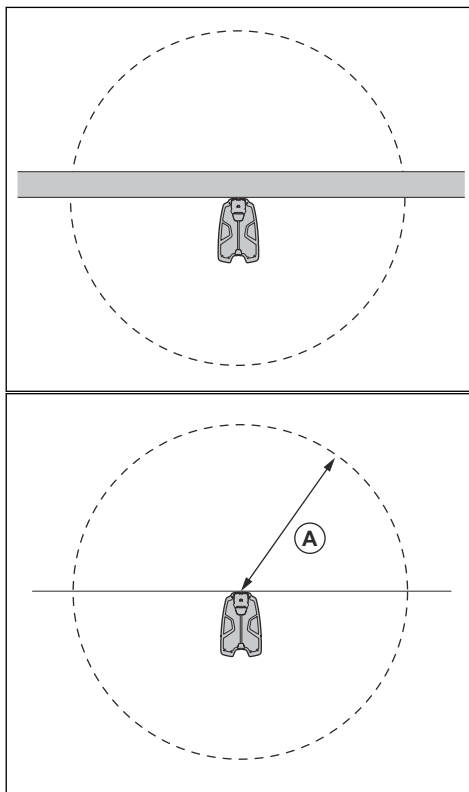
注記： 後退距離が短いと、わだちができるリスクが減少します。ドッキングポイントで良好な衛星信号を受信するには、後退距離を長くする必要があります。ある場合があります。

- チャージステーションは **Automower®** ハウス内に設置することができます。
- チャージステーション (A) は、上空視野を遮るものがないドッキングポイント (B) に設置してください。チャージステーションのドッキングポイント (B) とは、チャージステーションから後退した本製品が停止する場所です。後退距離は **70-250 cm/28-98 インチ** に設定できます。Husqvarna は、チャージステーションの前に **6 m/19.6 フィート** 以上の空きスペースを設けることをお勧めします。



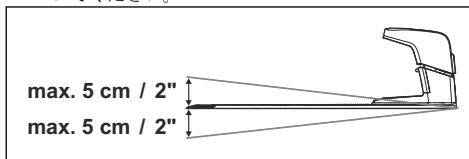
注記： 後退距離が短いと、わだちができるリスクが減少します。ドッキングポイントで良好な衛星信号を受信するには、後退距離を長くする必要があります場合があります。

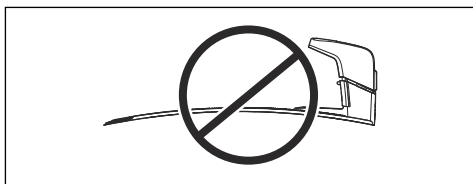
- ドッキングエリアの一部で本製品が動作しないようにするには、高さが **15 cm/6 インチ** 以上の保護壁を設置してください。ドッキングエリア (A) は、チャージステーションの周辺にある半径 **3 m/9.8 フィート** の円形のエリアです。



注記： 本製品は、ドッキングエリアにいるときに、チャージステーションの信号を使用してチャージステーションを探します。

- チャージステーションは、コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。





- 作業エリアが急斜面により 2 つの場所に分割されている場合、Husqvarna は、低い方の場所にチャージステーションを設置することをお勧めします。



注意： 地中に金属製の物体が埋まっている場所にはチャージステーションを設置しないでください。金属製の物体がチャージステーションの信号と干渉する可能性があります。

3.6 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。



注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

3.7 地図上のどこに物体を設置するかを検討する



注意： 作業エリアが水域、斜面、崖、または公道に面している場合は、仮想境界に保護壁を設置する必要があります。この保護壁の高さは、15 cm / 6 インチ以上にする必要があります。



注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。



注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

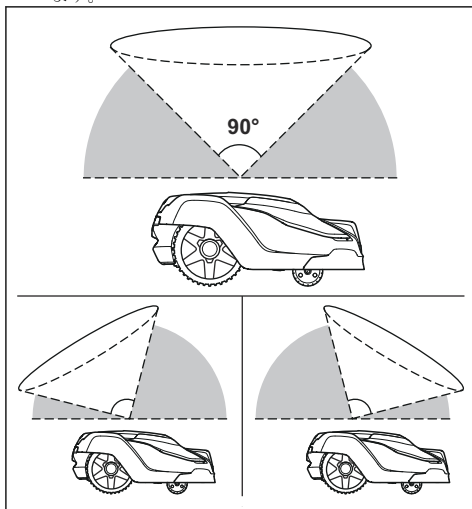
注記： 仮想境界を設置する前に、作業エリアの設置図を作成してください。

- Husqvarna は、チャージステーションから最も離れた設置場所までを最大距離とすることをお勧めします。Automower® 550 EPOS の場合、最大距離は 250 m/800 フィートです。Automower® 520 EPOS の場合、最大距離は 150 m/500 フィートです。

注記： 斜面や芝が長く伸びた場所があると、最大距離は短くなります。

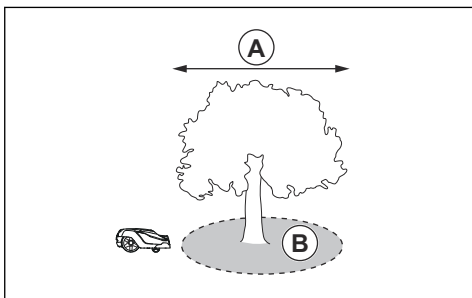
3.7.1 建物や木の近くに地図オブジェクトを設置するには

- 上空の 90° の部分に遮るものがないことを確認します。



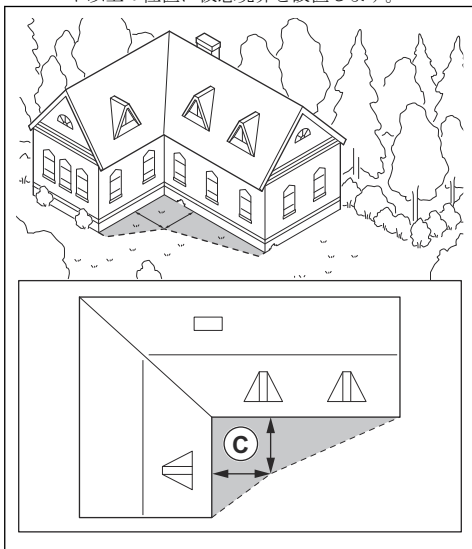
注記： 上空が遮られていると、本製品は、移動に必要な衛星信号を受信できません。

- 直径 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々の周りには、進入制限ゾーン (B) を設けてください。

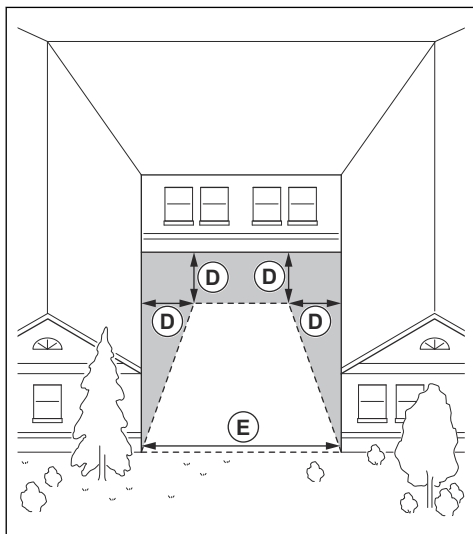


注記： 直径 (A) が 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々により、本製品が一時停止する可能性があります。通常、木が小さければ本製品の動作に干渉することはありません。

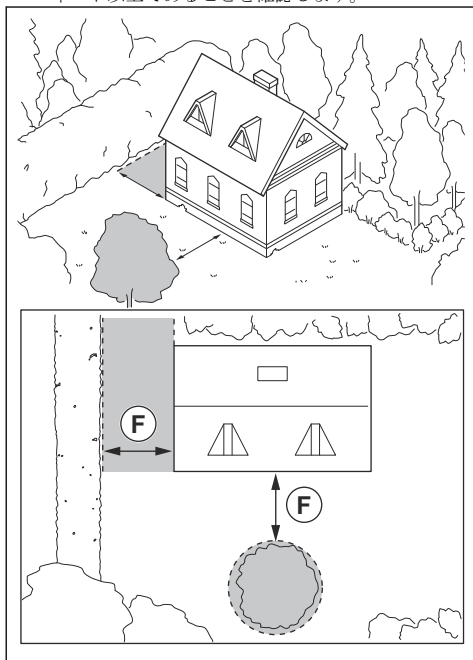
- L 字型の建物がある場合は、建物から 1.5 m/5 フィート以上の位置に仮想境界を設置します。



- U 字型の建物があるエリアに仮想境界を設置するには、距離 (E) が 6 m/20 フィート以上あることを確認します。建物が 3 m/10 フィートよりも高い場合は、距離 (E) が最も高い建物の高さの 2 倍であることを確認します。建物から 1.5 m/5 フィート以上離れた距離 (D) の位置に仮想境界を設置します。



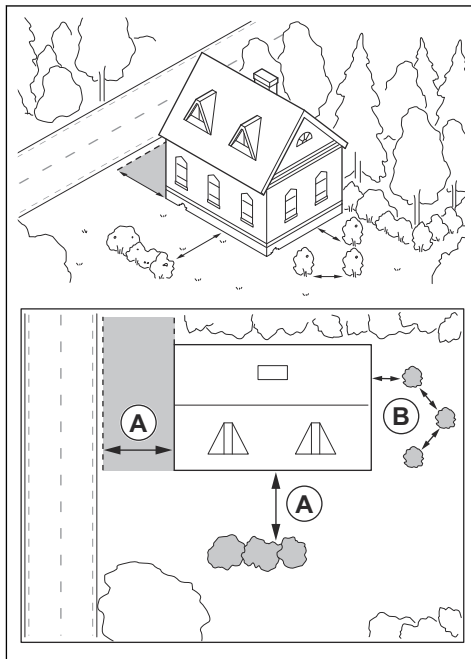
- 物体間のエリアの距離 (F) が 4 メートル/13.1 フィート以上であることを確認します。



3.7.2 地図上の狭い通路のどこに物体を設置するかを検討する

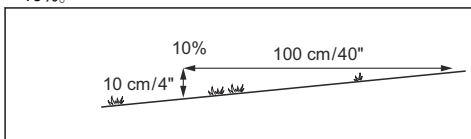
- 1 m/3.3 フィート未満の物体間の通路の最小幅が、2 m/6.6 フィートであることを確認します。

- 1 m/3.3 フィート未満の物体と 1 m/3.3 フィートを
超える物体の間の最小幅 (A) が、2 m/6.6 フィート
であることを確認します。
- 1 m/3.3 フィート未満の物体 (B) 間の最小距離が、
1 m/3.3 フィートであることを確認します。

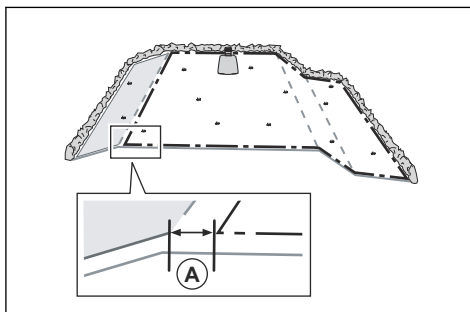


3.7.3 斜面での地図オブジェクトの設置

本製品は 45% 斜面でも動作します。仮想境界は、勾配が 15% 以下の場所に設置できます。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



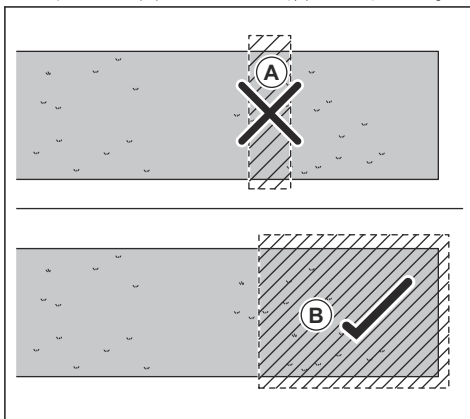
- 作業エリア内の勾配が 45% を超える斜面は、周囲
に進入制限ゾーンを設置して隔離してください。
- 芝生の外縁の勾配が 15% を超えている場合、仮想
境界の設置に際しては、縁からリアホイールを 5
cm/2 インチ (A) 離して本製品を操作します。



- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に
フェンスまたは保護壁を設置してください。
- Husqvarna は、芝の損耗を防ぐために斜面を直登す
るよう、体系化された方向パターンを設定するこ
とをお勧めします。
- 仮想境界は、勾配が 15% 以下の斜面に設置してく
ださい。

3.7.4 進入制限ゾーンの設置場所について

- 物体の周囲に 2 x 2 m/6.6 x 6.6 フィートを上回る
進入制限ゾーンを設けてください。
- 進入制限ゾーンに、本製品が動作してはならない完
了エリア (B) があることを確認してください。



注記： 本製品が作業エリア (A) の一部に入らないようにするために、作業エリアを横断するような進入制限ゾーンを設けないでください。

- 進入制限ゾーンが 30 x 30 cm/1 x 1 フィート以上
であることを確認してください。

3.8 本製品の設置

3.8.1 本製品の設置方法

本製品を設置するには、次の一般的手順を実行します。

1. リファレンスステーションを設置します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
2. チャージステーションを設置します。「チャージステーションを設置する方法 16 ページ」を参照してください。
3. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにインストールします。「Automower® Connect 17 ページ」を参照してください。
4. 本製品と Automower® Connect アプリのペアリングを行います。Automower® Connect アプリで始動順序の基本設定を行います。「Automower® Connect 17 ページ」を参照してください。
5. 作業エリア、進入制限ゾーン、輸送経路、メンテナンスポイントを含む地図を作成します。「」を参照してください。
6. Automower® Connect アプリを使用して本製品の設定を行います。「設定 22 ページ」を参照してください。

3.8.2 設置ツール

- 8 mm 六角レンチ (カートンに同梱)。

3.8.3 チャージステーションの設置

チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 11 ページ」を参照してください。



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。

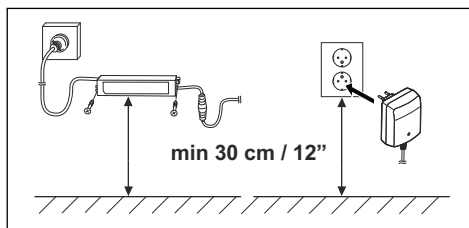


警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器 (RCD) に接続された電源コンセントのみを使用してください。

3.8.3.1 チャージステーションを設置する方法

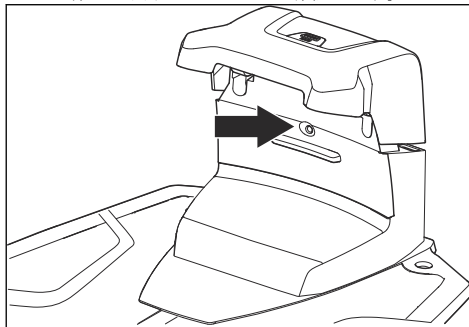
1. 選択した場所にチャージステーションを置きます。
2. 付属のネジを使用してチャージステーションを地面に固定します。
3. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
4. 電源を 30 cm/12 インチ以上の高さのある場所に置きます。「電源装置の取り付け場所について 13 ページ」を参照)。



5. 電源装置を 100~240V の電源コンセントに接続します。
6. 低電圧ケーブルを作業エリアの外の地面に設置します。ケーブルをベグで固定するか、または地中に埋めます。
7. 本製品をチャージステーションに置いて、本製品を充電します。

3.8.3.2 チャージステーションを視視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。



2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。参照：チャージステーションを設置する方法 16 ページおよびチャージステーションの LED インジケータランプ 39 ページ。

3.8.4 リファレンスステーションの設置

リファレンスステーションの取扱説明書に記載されている指示に従って、リファレンスステーションを設置してください。

3.8.5 Husqvarna Fleet Services™

Husqvarna Fleet Services™ は、業務用管理者にすべての製品の概要を提供するクラウドソリューションです。業務用管理者は、すべての製品をリモートで制御することもできます。Husqvarna Fleet Services™ は、Web サービスとして、およびアプリとして使用できます。Husqvarna Fleet Services™ アプリを使用すると、Automower® Connect アプリにリダイレクトされます。Husqvarna Fleet Services™ について詳しくは、www.husqvarna.com を参照してください。

注記：一部の国や地域では、地域によって使用されている携帯電波システムが異なるため、携帯電話による接続がサポートされません。付帯サービスは、作業エリアにサードパーティの2G/4Gのサブサプライヤーが存在する場合にのみ適用されます。

3.8.6 Automower® Connect

Automower® Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。このアプリは、製品の設置、設定、操作に使用します。アラームや統計情報などの詳細情報は Automower® Connect アプリでも確認できます。

このアプリには、次の 2 つの接続モードがあります。長距離携帯電波接続と短距離 Bluetooth® 接続です。

3.8.7 基本設定を行うには

本製品の電源を初めて入れるときは、操作を開始する前に、いくつかの基本設定を行う必要があります。

1. Husqvarna Fleet Services™ アプリと Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Husqvarna Fleet Services™ アプリにログインします。
3. 本製品をオンにします。
4. ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。

注記：本製品の Bluetooth® ペ어링操作モードが 3 分間有効になります。本製品とモバイルデバイス間のペ어링操作が正常に完了しなかった場合は、本製品を再始動します。「メインスイッチ 26 ページ」を参照してください。

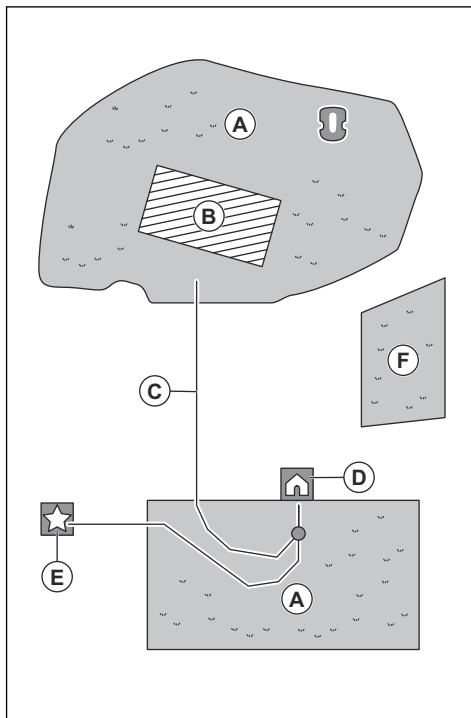
5. アプリで [Add Robotic mower (ロボット芝刈機の追加)] を選択して製品を追加し、アプリの指示に従います。

3.8.8 地図オブジェクトの設置

地図オブジェクトの設置に関する指示を読み、理解してください。「地図上のどこに物体を設置するかを検討する 13 ページ」を参照してください。

地図上に、アプリでフォローする物体を設置できます。

- 作業エリア (A)
- 進入制限ゾーン (B)
- 輸送経路 (C)
- チャージステーション (D)
- メンテナンスポイント (E)
- 作業エリア (セカンダリエリア) (F)



完全な地図をインストールするには、地図上に作業エリアとチャージステーションを設置する必要があります。

作業エリアは、仮想境界によって指定されます。最大 20 作業エリアとセカンダリエリアを地図上に設置できます。

作業エリアには、次の 2 つのタイプがあります。

- チャージステーションがある作業エリア、または本製品が自動的に動作する輸送経路がある作業エリアに接続された作業エリア。
- セカンダリエリアとは、チャージステーションと輸送経路がない作業エリアです。本製品を手動で動かして、作業エリアを行き来させる必要があります。

輸送経路とは、チャージステーション前のドッキングポイントと作業エリア間の指定経路です。本製品はこの経路内で自動的に動作しますが、芝を刈ることはありません。輸送経路は、アプリで一時的に有効または無効にすることができます。

本製品を稼働させないエリアがある場合は、進入制限ゾーンを設置します。進入制限ゾーンは、仮想境界によって指定されます。進入制限ゾーンは、アプリで一時的に有効または無効にできます。

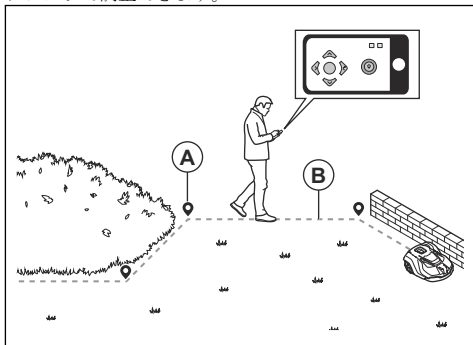
メンテナンスポイントとは、本製品を駐車できる指定位置のことです。これは、本製品のメンテナンスを行うサービスポイントなどに使用できます。メンテナンスポイ

ントは、経路を使用してドッキングポイントと接続します。

地図上に物体を設置するには、appDrive 装置を使用して製品を操作し、地図上に通過点を追加します。「地図上での物体の設置 18 ページ」を参照してください。

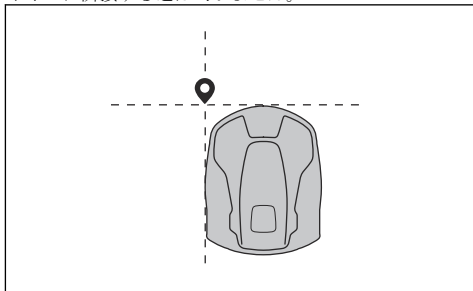
3.8.8.1 地図上での物体の設置

通過点 (A) は、仮想境界と経路 (B) を作成する位置です。線は、通過点間で直線になります。使用する通過点はできるだけ少なくすることをお勧めします。各作業エリア、関連する進入制限ゾーンおよび輸送経路に関して、通過点の合計最大数は 800 です。Husqvarna は、地図を完全にインストールするために、最大 1,000 の通過点を追加することをお勧めします。曲線を滑らかにするには、複数の通過点を使用します。Husqvarna は、通過点間の距離を 30 cm (1 フィート) 以上に設定することをお勧めします。通過点の位置は、地図のインストール後にアプリで調整できます。



注意： 地図オブジェクトをインストールするときは、通過点間で本製品を持ち上げたり移動したりしないでください。appDrive を使用して正しく設置してください。

注記： 作業エリアまたは進入制限ゾーンを設置するときのウェイポイントの位置は、本製品の左前隅になります。仮想境界は、本製品が稼動する領域を指定します。本製品は、カッティングディスクの位置により、境界ワイヤーに隣接する芝は刈りません。



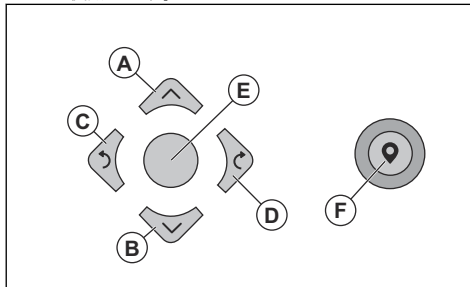
注記： 輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路を設置するときの通過点の位置は、本製品の駆動ホイール間の中心です。



- 自分が製品の近くにいる、Bluetooth® によりアプリで本製品に接続していることを確認してください。
- ステータスが *EPOS™* 確認済みであることを appDrive で確認します。

注記： Bluetooth® 機能を備えたゲームコントローラーを appDrive とともに使用して、本製品を操作できます。

- 設置する物体を選択し、appDrive 装置のボタンで本製品を操作します。
- 本製品を前進させるには、上ボタン (A) を使用します。
- 本製品を後退させるには、下ボタン (B) を使用します。
- 本製品を左旋回させるには、左矢印ボタン (C) を使用します。
- 本製品を右旋回させるには、右矢印ボタン (D) を使用します。
- 中央のボタン (E) をジョイスティックとして使用すると、本製品を任意の方向に移動および回転させることができます。
- 地図に通過点を追加するには、通過点ボタン (F) を使用します。

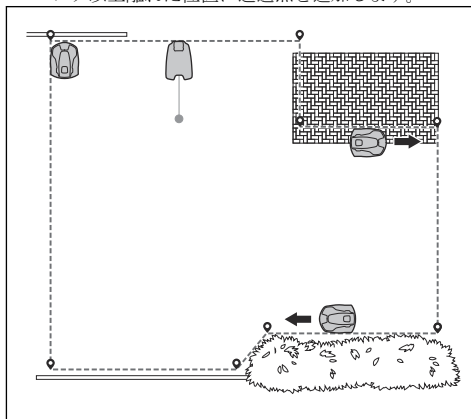


注記： appDrive を使用して本製品を操作するときは、本製品の 2-3 m/6.5-9.8 フィート後ろを歩いてください。

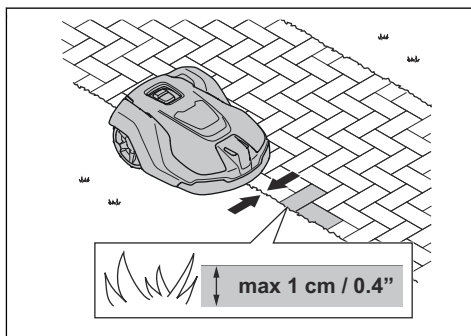
作業エリアを作成する

作業エリアを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

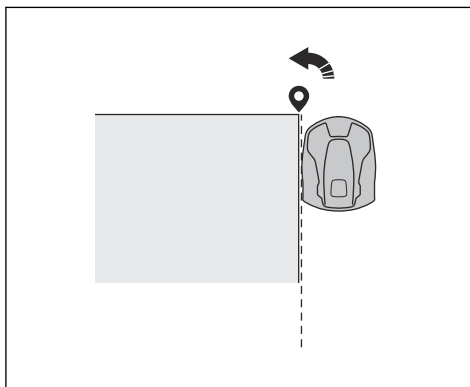
- 作業エリアの境界線を中心として、時計回りに本製品を操作します。
- 地図に通過点を追加します。障害物から 3 cm/1 インチ以上離れた位置に通過点を追加します。



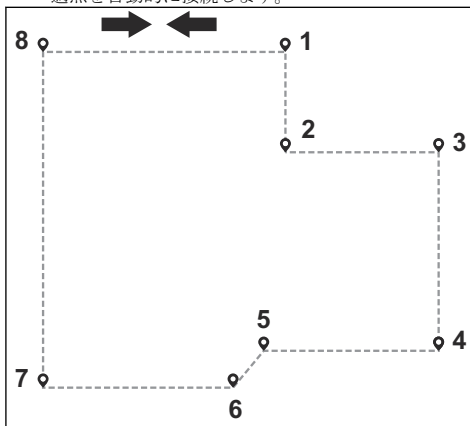
- 芝生と敷石の間の縁に、本製品に芝刈りをさせるための通過点を追加します。通過点を追加するときは、芝生の縁と敷石をまたぐようにしてください。芝生に対する敷石の高さが 1 cm/0.4 インチ以下であれば、本製品は縁をまたぐことができます。



- 角部分の周囲に仮想境界を設置するために、外側の角に通過点を追加します。



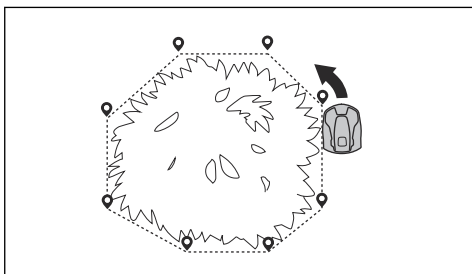
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ作業エリア内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 作業エリアを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。



進入制限ゾーンを作成する

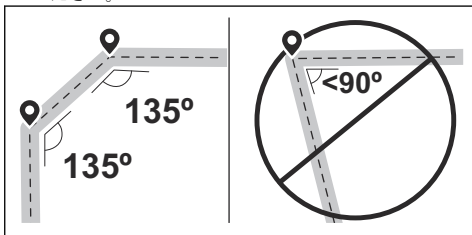
進入制限ゾーンを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

- 進入制限ゾーンの境界付近で、本製品を反時計回りに操作します。
- 地図に通過点を追加します。障害物から 3 cm/1 インチ以上離れた位置に通過点を追加します。
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ進入制限ゾーン内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 進入制限ゾーンを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。

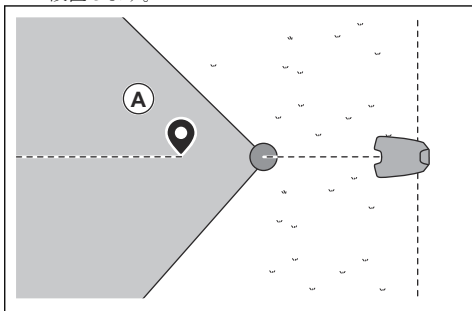


輸送経路を作成する

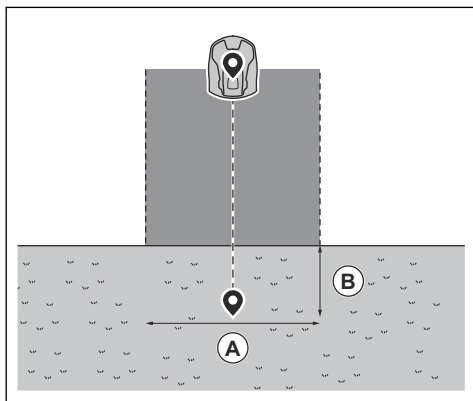
- 製品を操作して地図上に通過点を追加し、輸送経路を設置します。仮想境界から **1 m/3.3 フィート** 以上離れた作業エリアから開始します。
- 作業エリアの仮想境界に対して垂直に輸送経路を設置します。
- 進入制限ゾーンを横切るように輸送経路を設置しないでください。
- 輸送経路が同じ輸送経路を横切るような通過点を設置しないでください。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。



- 本製品を操作して通過点を追加し、輸送経路をドッキングポイントに接続します。
- ドッキングポイントから見て **+/-45 度** の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。

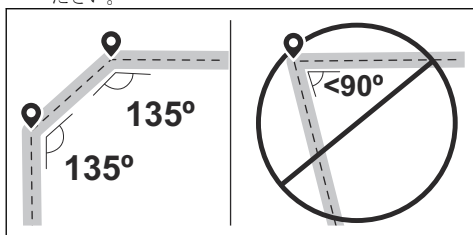


- 輸送経路を保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。
- 輸送経路の経路幅 (A) を設定します。経路幅は **2-5 m/6.6-16.4 フィート** に設定できます。

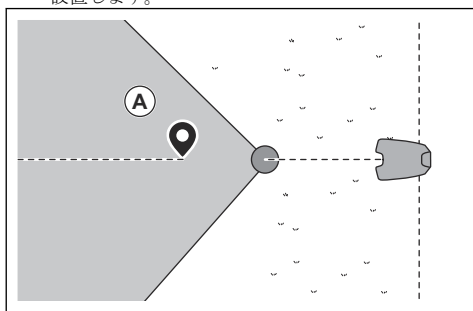


メンテナンスポイントを作成する

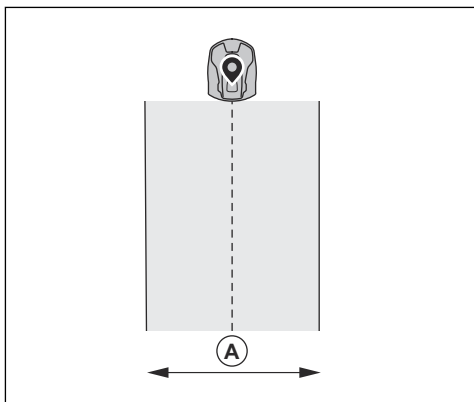
- 本製品を操作して、地図上に通過点を追加します。メンテナンスポイントを設置する位置で、通過点の追加を開始します。最初の通過点により、メンテナンスポイントが指定されます。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。



- 本製品を操作して通過点を追加し、チャージステーションまでの経路を作成します。
- ドッキングポイントから見て **+/-45 度** の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。



- メンテナンスポイントを保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。
- メンテナンスポイントの経路幅 (A) を設定します。経路幅は **2-5 m/6.6-16.4 フィート** に設定できます。



4 設定

本製品は工場出荷時に設定されていますが、設定は各作業エリアに合わせて変更できます。

4.1 スケジュール



[Schedule (スケジュール)] メニューで、本製品のスケジュール設定を変更できます。作業エリアごとに個別のスケジュールを設定できます。セカンダリエリアはスケジュールを設定できません。スケジュール機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。

作業エリアの形状、障害物の数、斜面により、芝刈り性能が低下します。

	システムチック芝刈り	不規則な芝刈り
対応エリア - スポーツ 24	毎日芝刈り	毎日芝刈り
対応エリア - 標準 48	1 日おきに芝刈り	毎日芝刈り
対応エリア - 最大 72	2 日おきに芝刈り	毎日芝刈り

本製品の最大対応エリアは、用途や芝生の品質によって異なります。

- 対応エリア - スポーツ 24：毎日（24 時間）芝刈りする必要がある、競技場やゴルフ場のフェアウェイの最大対応エリアです。手入れの行き届いた、緑豊かな密生した芝生を低い刈高で芝刈りする場合に有効です。
- 対応エリア - 標準 48：1 日おきに（48 時間）システムティックに芝刈りする必要がある、施設周辺エリアやゴルフ場のラフなど、多くの芝生の最大対応エリアです。不均一なパターンでは、毎日芝刈りする必要があります。標準的な芝生品質を中程度の刈高で芝刈りする場合に有効です。
- 対応エリア - 最大 72：2 日おきに（72 時間）システムティックに芝刈りできる、施設周辺エリアの最大対応エリアです。不均一なパターンでは、毎日芝刈りする必要があります。成長が遅い芝を高い刈高で芝刈りする場合に有効です。

4.2 システムチック芝刈りの使用方法

- 製品ができるだけ長時間稼働するようにスケジュールを設定します。

注記： 作業エリアの芝刈りを終えると、本製品はチャージステーションに移動します。本製品は、次のスケジュールが開始するまでチャージステーションに駐車します。

に駐車します。作業エリアの芝刈りが完全に終わっていない場合、本製品は次のスケジュールで作業エリアの芝刈りを続行します。

- スケジュールを 2 つ設定して、作業エリアの芝刈りを 1 日に 2 回行うこともできます。作業エリア全体の芝刈りを行うために十分な時間が確保されるよう製品のスケジュールを設定します。
- 2 つ以上のスケジュールを平行して設定すると、長い間芝刈りを行っていない場所から芝刈りを開始します。

4.3 不規則な芝刈りの使用方法

本製品は、スケジュールされた時間すべてで不規則な芝刈りを行います。

- 運転時間を短くするか、天候タイマー機能を使用して芝の損耗を防止します。「天候タイマー 23 ページ」を参照してください。
- 刈り込みの仕上がりがない場合は、運転時間を長くしてください。「スケジュール 22 ページ」を参照してください。
- 異なる作業エリアに平行して 2 つ以上のスケジュールを設定している場合、製品は最初に 1 つの作業エリアの芝刈りを開始します。製品を充電するたびに、別の作業エリアの芝刈りを開始します。

4.4 刈高



刈高は、作業エリアごとに個別に設定します。刈高は 20-60 mm/0.8-2.4 インチに設定できます。

4.5 パターン



パターンの設定は、作業エリアごとに設定します。次の設定が可能です。

- 製品の動作パターンを設定します。
- パターンによっては、方向の設定が可能です。
- パターンによっては、境界の芝刈りの種類を設定できます。固定境界の芝刈りでは、製品は常に同じ経路で動作し、作業領域の周囲にシャープな境界線を維持します。可変境界芝刈りでは、仮想境界に沿ってわだちが残りにくくなるように、異なる経路で芝を刈ります。

Husqvarna では、広い作業エリアや開放的な作業エリアの作業には、規則的なパターンの使用をお勧めしています。障害物のある作業エリアで規則的なパターンを使用する場合は、障害物の周囲に進入制限ゾーンを設け、可能な限り仕上がりが良好になるよう多方向に芝刈りを行うパターンを使用します。

Husqvarna では、作業エリアが複雑で障害物が多い場合、不規則なパターンの使用をお勧めしています。

4.6 操作

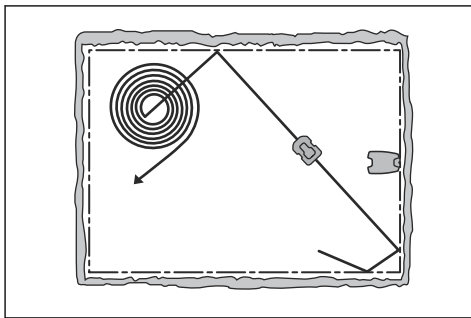


操作メニューで、[Weather timer (天候タイマー)]、[ECO mode (ECO モード)]、および [Spiral cutting (スパイラルカット)] の設定を変更することができます。

4.6.1 Spiral cutting (スパイラルカット)

スパイラルカットは、不規則なパターンの作業エリアにのみ適用されます。移動したエリアで芝が平均より長いと検知された際に、本製品の移動パターンをスパイラルカットに変えることができます。これにより、本製品は、スパイラルパターンで長い芝を素早く刈り込むことができます。スパイラルカットの強度を設定できます。強度を [Very low (最低)] / [Low (低)] にすると、スパイラルカットを行う頻度が低下します。強度を [High (高)] / [Very high (最高)] にすると、スパイラルカットを行う頻度が増加します。

注記： 勾配が 15% を超える斜面では、スパイラルカットは開始されません。



4.6.2 天候タイマー

天候タイマーにより、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。天候タイマーは、不規則なパターンを使用する作業エリアでのみ芝刈り時間を調整します。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： 天候タイマーを使用する場合、天候タイマーの運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、スケジュールを設定した作業エリアごとに 1 回の芝刈りサイクルを完了し、天候タイマーが、引き続き芝刈りを行うかどうかを選択します。

注記： 製品を 50 時間以上動かしていない場合、またはすべてのユーザー設定をリセットした場合は、天候タイマーがリセットされます。スケジュール設定のリセットが行われても、天候タイマーは変更されません。

4.6.3 ECO モード

[ECO mode (ECO モード)] では、本製品の駐車中や充電中に、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： [ECO mode (ECO モード)] は、電力を節約し、ヒアリングループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

4.6.3.1 ループ信号の有効化

1. 本製品をオンにします。
2. 本製品をチャージステーションに入れます。
3. **STOP** ボタンを押します。
4. 2 秒待つてから、本製品をチャージステーションから取り外します。
5. チャージステーションの LED インジケータが緑色に点灯していることを確認します。
6. 芝刈りを開始する位置に本製品を置きます。

4.7 アクセサリー



本製品に取り付けられているアクセサリの設定は、このメニューで行うことができます。

4.7.1 ヘッドライト

ヘッドライト点灯のタイミングを制御する設定には、以下の 4 つがあります。

- 常時オン

- 夕方のみ (19:00-00:00)
- 夕方と夜間 (19:00-07:00)
- 常時オフ

ヘッドライトは、ストロボアンバーライトまたはアンバーライトに設定できます。エラー発生時にヘッドライトが点滅するように設定できます。

注記： Husqvarna は、夜間にヘッドライトを点灯させることをお勧めします。

4.7.2 Automower® ハウスとの衝突の回避

このオプションが有効になっている場合は、本製品と Automower® ハウスの摩耗が減りますが、チャージステーション周囲で芝を刈り取らない部分が広がります。

4.8 全般 (Bluetooth® のみ)



この機能は、日時を設定したり、デフォルトの設定にリセットしたりするために使用します。

4.8.1 Time & date (時刻 & 日付)

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

4.8.2 工場設定リセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。すべての地図オブジェクトとスケジュールが削除されます。

注記： PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻はリセットされません。

4.9 セキュリティ



セキュリティ設定で、PIN コード、GeoFence、その他のセキュリティ機能を制御します。[Security (セキュリティ)] メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

4.9.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を

使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

4.9.2 PIN コードの変更

PIN コードは変更できます。新しい PIN コードをメモに記録します。参照：はじめに 6 ページ。

4.9.3 盗難防止

[Theft protection (盗難防止)] メニューで、アラーム持続時間およびアラームをトリガーするイベントを設定することができます。工場出荷時の設定では PIN コードが必要で、アラームの持続時間は 1 分です。

4.9.3.1 PIN コードを要求

これは、[STOP (ストップ)] ボタンを押した後は、正しい PIN コードを入力しないと、本製品を操作したり制御したりできなくなるという機能です。間違った PIN コードを連続して 5 回入力すると、本製品は一時的にロックされます。新しく不正な試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。

4.9.3.2 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

4.9.3.3 ストップボタン押下状態

アラーム「STOP button pressed (ストップボタン押下状態)」が有効になっている場合は、誰かが [STOP (ストップ)] ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

4.9.3.4 持ち去り

アラーム「Carried away (持ち去り)」が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

4.9.4 GeoFence

GeoFence は、本製品ののための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が、中心位置から設定距離以上に離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。GeoFence が有効な場合、中心位置は本製品の現在位置に設定されます。アラームを停止して本製品を起動するには、PIN コードが必要です。本製品の電源をオンにしたときのみ、GeoFence は有効化されます。

4.10 Automower® Connect (Bluetooth® のみ)



Automower® Connect では、Automower® Connect モジュールを有効または無効にできます。また、信号強度や接続ステータスの確認、新しいペアリングの開始、ペア

リングされたアカウントからの本製品の削除を行うこともできます。

4.11 メッセージ

このメニューでは、過去の障害および情報メッセージを表示できます。一部のメッセージでは、障害の是正に役立つヒントやアドバイスが表示されます。

何かに引っかかったりバッテリー残量が不足したりなど、何らかの理由で本製品に障害が発生した場合は、その障害についてのメッセージと発生時刻が保存されます。

同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。

Installation (設置) 11 ページを参照してください。

4.12 芝刈りプロファイル

芝刈りプロファイルには、さまざまな設定を保存できます。複数の場所に 1 つの製品を使用する場合や、同じ位置で異なる設定がある場合に、この機能を使用します。芝刈りプロファイルには、製品設定、地図オブジェクト、およびそれらの設定が保存されます。

4.13 無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)

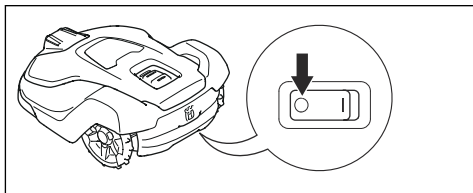
本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。工場出荷時の設定では、この機能は有効になっています。

5 Operation (操作)

5.1 メインスイッチ



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



- 本製品を始動するには、**メインスイッチ**を「1」の位置にセットします。
- 本製品を OFF するには、**メインスイッチ**を「0」の位置にセットします。

5.2 本製品の始動方法

1. 本製品の STOP ボタンを押します。
2. **メインスイッチ**を「1」の位置にセットします。
3. Automower® Connect アプリを開きます。
4. PIN コードを入力します。
5. アプリで動作モードを選択します。「動作モードの [Start (開始)] を選択する 26 ページ」を参照してください。
6. 本製品の **START** ボタンを押します。
7. アプリで動作モードを選択します。

5.3 動作モードの [Start (開始)] を選択する

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. [Start (開始)] を選択し、次の動作モードのいずれかを選択します。[Resume Schedule (スケジュールを再開)] appDrive または [Select working area (作業エリアを選択)]。

5.3.1 スケジュールを再開

製品が、スケジュールされた作業エリアで芝刈りを継続し、自動で充電を行います。

5.3.2 appDrive

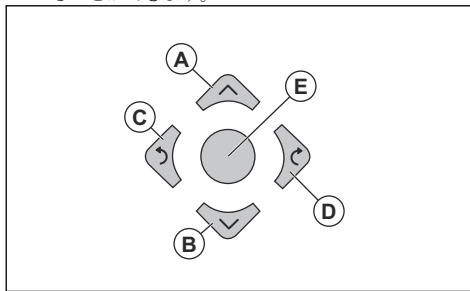
appDrive を使用して本製品を手動で操作します。

5.3.2.1 appDrive で本製品を操作する

ボタンを使用して本製品を操作します。

- 本製品を前進させるには、**上ボタン (A)** を使用します。

- 本製品を後退させるには、**下ボタン (B)** を使用します。
- 本製品を左旋回させるには、**左矢印ボタン (C)** を使用します。
- 本製品を右旋回させるには、**右矢印ボタン (D)** を使用します。
- **中央のボタン (E)** をジョイスティックとして使用すると、本製品を任意の方向に移動および回転させることができます。



注記： appDrive を使用して本製品を操作するときは、本製品の 2-3 m/6.5-9.8 フィート後ろを歩いてください。

5.3.3 作業エリアを選択

この機能を使用すると、選択した作業エリアで一時的に本製品を運転できます。不規則なパターンを使用する作業エリアでは、この機能の制限時間の選択が可能です。設定時間を経過すると、製品はスケジュールに従って動作を継続します。規則的なパターンを使用する作業エリアでは、本製品は、選択した作業エリアの芝刈りが完了するまで刈り込みを続けます。作業エリアの芝刈りが終わっても、本製品は設定されたスケジュールどおりに刈り込みを続けます。

5.3.3.1 セカンドリエリア

製品をセカンドリエリアで操作するには、本製品をセカンドリエリアに手動で移動する必要があります。選択した期間、またはバッテリーが空になるまで、本製品は芝刈りを行います。

5.4 動作モード - Park (駐車)

アプリで [Park (駐車)] を選択すると、次の動作モードを選択できます。

- **Park until further notice (さらなる通知があるまで 駐車)**
- **時間の選択**

5.4.1 Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)

動作モード *Park* (駐車) では、新しい動作モードが選択されて **START** ボタンが押されるまで、本製品はチャージステーションに留まります。

5.4.2 時間の選択

本製品はチャージステーションに戻り、選択した駐車時間の間留まります。この動作選択を使用することで、進行中の芝刈りサイクルを一時的に停止し、本製品をチャージステーションに駐車させることができます。

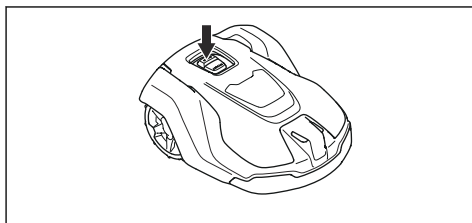
5.4.3 操作モード - 一時停止

Automower® Connect アプリで [*Pause* (一時停止)] を選択すると、本製品は現在の動作をやめて、一時停止します。本製品の一時停止を解除するには、Automower® Connect アプリで [*Park* (駐車)] または [*Start* (スタート)] を選択します。

5.5 本製品の停止方法

1. 本製品の上部にある **STOP** ボタンを押します。

本製品が停止し、カッティングモーターが停止します。



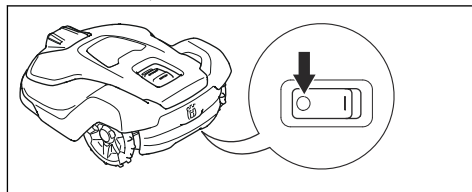
注記： **START** ボタンをもう一度押すと、本製品は以前と同じ動作モードで動作し続けます。

5.6 本製品をオフにする方法

1. **STOP** ボタンを押します。
2. アプリの短距離 Bluetooth® で本製品を接続します。

注記： 本製品が Bluetooth® でアプリと接続されていない場合、本製品を **OFF** に設定することはできません。

3. **メインスイッチ**を [*0*] の位置にセットします。



5.7 バッテリーの充電

本製品が新品の場合や長期間保管した後は、バッテリーが空になることがあります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。

1. **メインスイッチ**を [*1*] の位置にセットします。
2. チャージプレートが接点プレートに接触するまで、本製品をチャージステーションにはめ込みます。
3. Automower® Connect アプリで本製品が充電されていることを確認します。

6 メンテナンス

6.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 2 ～ 5 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- 作動時間および作業エリアの寸法。
- 芝の長さおよび厚さ。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、芝刈りの結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、 **ブレードの交換 30** ページを参照してください。

6.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

準備	毎週	1 年に 1 回	3 年に 1 回
製品を清掃します。参照： 製品の清掃 29 ページ。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ファームウェアのアップデートを行います。		O	
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	
サービス			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。参照： ブレードの交換 30 ページ。	X		
チャージステーションの接点プレートを点検して研磨します。		X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。参照： バッテリーの充電 27 ページ。		X	
ホイールに磨耗がないか点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。フロント/リヤ衝突ショックアブソーバーの締付トルクを点検します。		O	
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。		O	
本製品の本体のチャージプレートのケーブルおよびコネクターを確認します。		O	

準備	毎週	1年に1回	3年に1回
シャーシのラバークロメットを点検して、正しく密封されていることを確認します。		○	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。		○	
刈高調整システムのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を交換します。			○
エアフローフィルターを点検して清掃します。		○	
エアフローフィルターを交換します。			○
シャーシのネジの締付トルクを確認します。		○	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。			○
最後のステップ			
ソフトウェアサービスツールを使用して、本製品の機能テストを行います。		○	

6.3 製品の清掃

Husqvarna は、別売りの特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細情報は、Husqvarna 担当者までお問い合わせください。

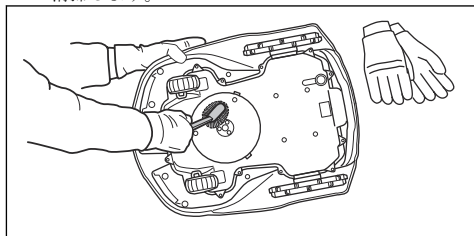


注意： 本製品とチャージステーションの清掃には高圧水を使用しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

6.3.1 シャーシおよびブレードディスクの清掃

ブレードディスクとブレードは週に1回点検してください。

1. メインスイッチを [0] の位置にセットします。
2. 本製品を横向きに置きます。
3. ブレードが損傷していないこと、ブレードとブレードディスクが自由に回転することを確認します。
4. ブラシを使用して、ブレードディスクとシャーシを清掃します。



6.3.2 シャーシの清掃

- ブラシまたは湿らせた布でシャーシの下部を清掃します。

6.3.3 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。

6.3.4 本製品の本体の清掃

- 湿らせた布と石鹼液を使用して、本製品の本体を清掃します。

6.3.5 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。



注意： チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

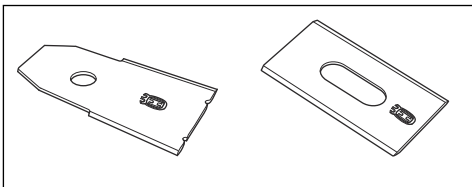
注記： チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。チャージステーションを定期的に清掃してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。

6.4 ブレードの交換



警告： Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保証できます。

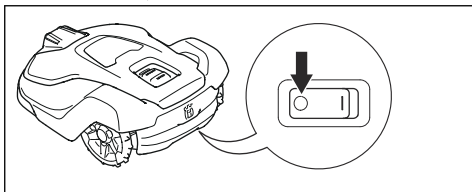


警告： ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

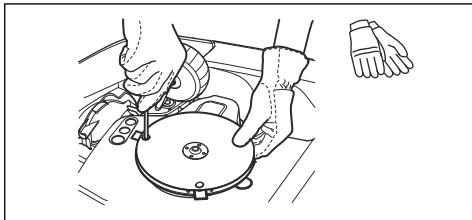
安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、5 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。

6.4.1 ブレードの交換

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **メインスイッチ** を [0] の位置にセットします。



3. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。
4. ブレードのネジがスキッドプレートの穴の位置に揃うまで、スキッドプレート进行を回します。
5. 5 本のネジをドライバーで外します。

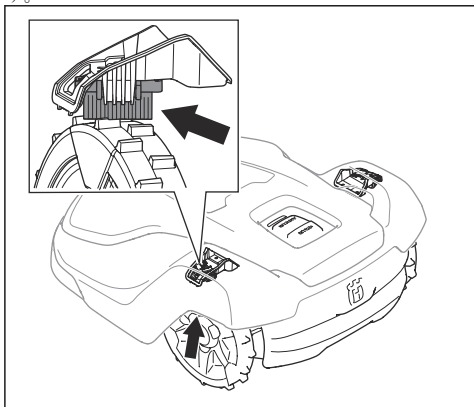


6. 5 枚のブレードを外します。

7. 5 枚の新しいブレードとネジを取り付けます。
8. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

6.5 ホイールブラシの交換

本製品のホイールブラシは製品のホイールから草を取り除きます。定期的にホイールブラシを点検して、消耗した場合は交換してください。Husqvarna では 5～10 週間でホイールブラシを交換することをお勧めしています。



6.6 バッテリー



注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を 1 日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または 1 日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

6.7 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くの Husqvarna センtralサービスにお持ちください。冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。

- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要な場合はバッテリー交換の推奨。
- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

7 トラブルシューティング

7.1 メッセージ

アプリに表示されるメッセージは以下の表のとおりです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムブロック)	ブレードディスクが草などの異物によってブロックされています。	ブレードディスクを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水中にあります。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。
	芝が高くて厚みがある状態です。	芝の高さに合わせて芝高を調整します。
		スケジュール設定を調整して、作業時間を長くします。
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、小さな領域で複数の障害物の背後にあります。	エリアを確認して、本製品をその場所から動けないようにしている障害物を取り除きます。

メッセージ	原因	対応措置
<i>No loop signal</i> (ループ信号なし)	電源またはチャージステーション用の低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED インジケータが点灯しない場合は、電力が供給されていないということです。コンセントの接続と漏電遮断器を点検します。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源またはチャージステーション用の低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	[<i>ECO mode</i> (<i>ECO</i> モード)] が有効で、チャージステーションの LED インジケータが緑色に点滅しています。本製品が作業エリア内で手動で始動されましたが、製品がチャージステーションから移動される前に STOP ボタンが押されませんでした。チャージステーションの信号が無効になっているため、本製品がチャージステーションに入ることができません。「 <i>ECO</i> モード 23 ページ」を参照してください。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。「 <i>本製品の始動方法 26 ページ</i> 」を参照してください。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。「 <i>新規ループ信号 24 ページ</i> 」を参照してください。
	チャージステーションが正しく取り付けられていません。	指示に従ってチャージステーションを取り付けてください。「 <i>チャージステーションを設置する方法 16 ページ</i> 」を参照してください。
	フェンス、補強鋼材などの金属の物体、チャージステーション付近の埋設ケーブルからの干渉があります。	チャージステーションの位置を変更します。
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	仮想境界のそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	仮想境界が正しく設置されていることを確認します。「 <i>地図オブジェクトの設置 17 ページ</i> 」を参照してください。
	輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路の斜面勾配が大きすぎます。	輸送経路が正しく設置されていることを確認します。「 <i>輸送経路を作成する 20 ページ</i> 」を参照してください。
	近くに設置されている別の製品からのループ信号と干渉しているため、製品が正しいチャージステーション信号を見つめることができません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。「 <i>新規ループ信号 24 ページ</i> 」を参照してください。
	フェンス、補強鋼材などの金属の物体、チャージステーション付近の埋設ケーブルからの干渉があります。	チャージステーションの位置を変更します。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Empty battery</i> (バッテリー空)	本製品がチャージステーションを見つけ ることができません。	本製品の位置が正確ではなく、チャージ ステーションが見つかりません。
		本製品を妨害している物体があるため、 チャージステーションを見つけることが できません。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 30 ページ」を参照してください。
	チャージステーションのアンテナに不具 合があります。	チャージステーションの LED インジケ ータが赤色に点滅している場合は、チャ ージステーションのアンテナに不具合が あります。認定サービス代理店にご連絡 ください。
<i>Slipped</i> (スリップ)	本製品が障害物に当たって停止したか、 濡れた芝でホイールが動きません。	本製品を移動して、問題の原因を解決し ます。濡れた草が原因であれば、芝生が 乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	勾配の最大許容値は 45 % です。これよ り急な斜面は隔離してください。「 <i>斜面で の地図オブジェクトの設置 15 ページ</i> 」 を参照してください。
<i>右/左ホイールモーター過負 荷</i>	草などの異物がドライブホイールに巻き 付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物 を取り除いてください。
<i>Charging station blocked</i> (ス テーションブロック)	本製品のチャージプレートとチャージス テーションの接点プレートの接続が良好 ではありません。本製品は充電を何度か試 みています。	本製品をチャージステーションに置いて、 チャージプレートと接点プレートが 接続していることを確認します。
	障害物のため本製品がチャージステー ションに入ることができません。	障害物を取り除いてください。
	チャージステーションが傾いているか、 曲がっています。	ベースプレートを水平面に置きます。
<i>Stuck in charging station</i> (チャ ージステーションにスタック)	障害物のため本製品がチャージステー ションから移動できません。	障害物を取り除いてください。
	ベースプレートの表面が濡れているか汚 れているため、本製品がチャージステー ションから出ることができません。	チャージステーションのベースプレートを 清掃します。
<i>Upside down</i> (上下反転)	本製品が傾いているか、製品本体が上下 逆さになっています。	本製品を正しい位置に置きます。
<i>Mower tilted</i> (芝刈機の傾き)	本製品の傾きが最大角度を超えていま す。	水平な地面があるエリアに本製品を移動 します。
<i>Lifted</i> (持ち上げられました)	本製品が持ち上げられたため、リフトセ ンサーが作動しました。	本製品を移動します。問題が解決しない 場合は、認定サービス代理店に相談して ください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Collision</i> (衝突)	製品本体がシャースの周囲で自由に動くことができません。	シャースと製品本体の間の汚れや異物を取り除きます。製品本体がそのシャースの周囲を自由に動くことを確認してください。
	本製品は前後に移動できません。	本製品の動きを妨害している物体を取り除きます。
<i>Wheel motor blocked right/left</i> (右/左ホイールモーターブロック)	ホイールが草などの異物によってブロックされています。	ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Alarm! (注意!) Mower stopped</i> (芝刈機の停止)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	[<i>Security</i> (セキュリティ)] メニューでセキュリティ設定を調整してください。「セキュリティ 24 ページ」を参照してください。
<i>Alarm! (注意!) Mower outside Geofence</i> (芝刈機がジオフェンス外)	本製品が GeoFence エリア外に移動したため、アラームが作動しました。	
<i>Alarm! (注意!) Mower was moved</i> (芝刈機が動かされました)	本製品が移動されたため、アラームが作動しました。	
<i>Electronic problem</i> (電気系の問題)	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Loop sensor problem</i> (ループセンサーの問題)		
<i>Tilt sensor problem</i> (傾斜センサー不具合)		
一時的な問題		
<i>Invalid sub-device combination</i> (無効なサブデバイス組み合わせ)		
一時的なバッテリーの問題		
バッテリーの誤った組み合わせ		
<i>Collision sensor problem</i> (衝突センサーの問題)		
<i>Lift sensor problem</i> (リフトセンサーの問題)		
<i>Ultrasonic problem</i> (超音波の問題)		
<i>GPS navigation problem</i> (GPS ナビゲーションの問題)		

メッセージ	原因	対応措置
Charging system problem (充電システムの問題)	チャージプレートと接点プレートに腐食や汚れがあります。	本製品を再始動してください。本製品のチャージプレートおよびチャージステーションの接点プレートを清掃してください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Battery problem (バッテリーの問題)	バッテリーまたはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。
Battery temperature outside limits (バッテリー温度が範囲外)	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎるため、本製品は始動できません。	バッテリーの温度が下がると、本製品は始動します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
Charging current too high (高すぎる充電電流)	電源ユニットが正しくないか、不具合があります。	電源装置とチャージステーションに不具合がないことを確認します。適切な電源装置とチャージステーションを使用していることを確認してください。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
地図の問題	作業エリアが指定されていません。	Automower® Connect アプリで作業エリアを作成します。「作業エリアを作成する 19 ページ」を参照してください。
	地図オブジェクトファイルが正しくありません。	アプリの地図を点検します。地図を調整して保存してください。
		地図を削除して新たにインストールしてください。
Work area tampered (作業エリアの改ざん)	電子関連またはファームウェアの一時的な問題。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	チャージステーションが移動しました。	チャージステーションを元の位置に戻すか、アプリにチャージステーションを再インストールして、新しい位置を設定します。
	リファレンスステーションが移動しました。	リファレンスステーションを元の位置に戻すか、アプリにリファレンスステーションを再インストールして、新しい位置を設定します。リファレンスステーションを新しい位置に移動した場合は、工場出荷時設定にリセットして、すべての地図を再インストールする必要があります。
Wheel drive problem, right/left (右/左ホイール駆動問題)	ホイールが草などの異物によってブロックされています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。

メッセージ	原因	対応措置
位置の探索	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体があるかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。「 地図オブジェクトの設置 17 ページ 」を参照してください。
衛星からの位置情報が不正確	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体があるかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。「 作業エリアを作成する 19 ページ 」を参照してください。
リファレンスステーションの通信の問題	製品がリファレンスステーションに接続されていません。	製品とリファレンスステーションのペアリングを行います。
	リファレンスステーションが正しく設置されていません。	リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	本製品が動作するすべてのエリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できません。	すべての作業エリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信しているかを確認します。受信していない場合は、新たにリファレンスステーションの設置または地図のインストールを行います。「 地図オブジェクトの設置 17 ページ 」を参照してください。
	電源の不具合です。	リファレンスステーションの電源不具合の原因を調べて修正してください。
	リファレンスステーションでエラーが発生し、LED インジケータが赤色で点滅しています。	リファレンスステーションの電源を切断し、再度接続してから、リファレンスステーションを再起動します。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	エリア内の別のリファレンスステーションまたは他の無線システムとの干渉が生じています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
予期しない刈高調整	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝や異物を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Limited cutting height range (刈高範囲の制限)		
刈高の問題		
Cutting height blocked (刈高ブロック)		
カッティングシステムの大きなアンバランス	本製品がブレードディスクの振動を検出しています。	ブレードとネジに損傷や摩耗がないか確認します。すべてのブレードが正しく取り付けられていること、ブレードディスクの各位置にブレードが1つのみ取り付けられていることを確認してください。
Cutting system imbalance (カッティングシステムのアンバランス)		
通過点が多すぎます	現在の作業エリアでは、通過点が多すぎます。	作業エリア、進入制限ゾーン、および輸送経路を新たに設置します。通過点を減らします。現在の作業エリアを複数の作業エリアに分割してください。
Destination not reachable (移動先到達不可)	チャージステーションと作業エリアまたはメンテナンスポイントの間に輸送経路がありません。	チャージステーションと作業エリアまたはメンテナンスポイントの間に輸送経路を作成します。
	輸送経路がブロックされており、本製品が作業エリア、チャージステーション、またはメンテナンスポイントに移動できません。	輸送経路がブロックされていないことを確認するか、輸送経路を削除して新しい輸送経路を作成します。
No power in charging station (チャージステーションの電力なし)	電源が正しくないか、損傷しています。	電源を点検します。必要に応じて、電源を交換します。
	電源の不具合です。	リファレンスステーションの電源不具合の原因を調べて修正してください。
	本製品のチャージプレートとチャージステーションの接点プレートの接続が良好ではありません。	チャージプレートと接点プレートが接続されていることを確認します。
Multiple reference stations (複数のリファレンスステーション)	作業エリアの近くに複数のリファレンスステーションがあります。これにより、別のリファレンスステーションからの本製品の干渉が発生する可能性があります。	同じ問題が頻発する場合は、認定サービス販売店にご連絡ください。
接続の問題	Automower® Connect モジュールの問題です。	本製品を再始動してください。接続の問題が解消されない場合、本製品を Automower® Connect から外して新しくペアリング操作を実行します。問題が解決しない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
Wrong PIN code (PIN コードの誤り)	入力された PIN コードが間違っています。入力に 5 回失敗すると、本製品は一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードが正しくない場合は、アプリのリンクを使用して、登録した電子メールアドレスに PIN コードを送信します。電子メールアドレスを登録していない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
修正データがありません	Husqvarna® Cloud を介した EPOS™ の技術的な問題。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
	本製品に携帯電話接続がないため、修正データを受信できません。	本製品が動作するエリア全体が、携帯電話の通信可能範囲内にあることを確認してください。

7.2 チャージステーションの LED インジケータランプ

設置が完全に機能している場合、チャージステーションのインジケータランプは緑色で点灯または点滅している必要があります。別の色になっている場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従ってください。

www.husqvarna.com で詳しいヘルプを参照できます。さらに支援が必要な場合は、最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

ランプ	ステータス
緑色の点灯	良好な信号。
緑色の点滅	信号は良好であり、ECO モードが有効になっています。「ECO モード 23 ページ」を参照してください。
赤色の点滅	チャージステーションのアンテナの中断最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
赤色の点灯	回路基板の不具合、またはチャージステーションに不適切な電源が接続されています。不具合は必ず認定サービス技術者が修正してください。最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

7.3 本製品の LED インジケータ

本製品のコントロールパネルにある LED インジケータには、現在の製品状況が表示されます。

LED インジケータ ライト	製品状態
緑色に点灯	本製品が芝刈りをしているか、チャージステーションから移動しています。
緑色に脈動点滅	本製品が稼働開始の準備をしています。
緑色に点滅	本製品が [Pause (一時停止)] モードになっています。
赤色に点滅	エラーにより本製品が停止しました。
黄色に点灯	STOP ボタンが押されました。
点滅 (黄)	本製品を起動するには、PIN コードを入力する必要があります。
青色に点灯	本製品がチャージステーションまたはメンテナンスポイントに移動します。 アプリが Bluetooth® 搭載の製品に接続されたときは、LED インジケータが 3 秒間青色に点灯します。
青に脈動点滅	本製品がチャージステーションで充電しています。
青色に点滅	本製品がチャージステーションで停車しています。 この時点で、本製品は Bluetooth® を検出し、Bluetooth® で接続することが可能になります。
白色に点灯	本製品が appDrive モードになっています。

LED インジケータ ライト	製品状態
白色に脈動点滅	本製品が OFF になっています。
	ファームウェアをインストール中です。
白色に点滅	新しいファームウェアをインストールする必要があります。

詳細説明は、www.husqvarna.com に掲載されています。詳しくは、認定サービス代理店にお問い合わせください。

7.4 症状

本製品が正常に動作しない場合は、下の症状表を参照してください。

症状	原因	対応措置
メインスイッチが [0] 位置にセットされているが、本製品が OFF にセットされていない。	メインスイッチが [0] 位置にセットされていますが、本製品が Bluetooth® で Automower® Connect アプリに接続されていません。本製品は無効ですが、 OFF にセットされていません。	メインスイッチを [1] 位置にセットして、本製品を Bluetooth® で Automower® Connect アプリに接続し、メインスイッチを [0] 位置にセットします。
本製品がチャージステーションに入ることができない。	チャージステーションが水平な場所がありません。	チャージステーションは、平らな場所に設置してください。「チャージステーションの設置場所について 11 ページ」を参照してください。
	チャージステーションが作業エリアから離れすぎています。	新しい作業エリアを作成するか、チャージステーションを移動します。
本製品が指定していない時間に動作する。	本製品の時刻と日付を設定する必要があります。	時刻と日付を設定します。「 Time & date (時刻 & 日付) 24 ページ 」を参照してください。
	動作の開始時刻と終了時刻が正しくありません。	スケジュール設定を変更してください。「 スケジュール 22 ページ 」を参照してください。
本製品が振動する。	ブレードが損傷しているため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。「 ブレードの交換 30 ページ 」を参照してください。
	同じ位置のブレードが多すぎるため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なる厚さのブレードが製品に取り付けられています。	ブレードの厚さが異なっているかを確認し、必要に応じてブレードを交換します。
製品は動作していますが、ブレードディスクは回転していません。	本製品がチャージステーションに移動しています。	本製品の通常の動作です。本製品がチャージステーションに移動しているとき、ブレードディスクは回転しません。

症状	原因	対応措置
1 回の充電で持続する本製品の動作時間が通常よりも短い。	草などの異物が原因でブレードディスクが詰まっています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。「シャージおよびブレードディスクの清掃 29 ページ」を参照してください。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 30 ページ」を参照してください。
	芝が高くて厚みがある状態です。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
作動時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 30 ページ」を参照してください。
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	[<i>Schedule</i> (スケジュール)] 設定が行われているため、または [<i>Park until further notice</i> (更なる通知まで駐車)] が選択されているため、本製品は駐車しています。	[<i>Schedule</i> (スケジュール)] 設定を変更するか、本製品を始動します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
本製品が、円形状、またはらせん状に移動する。	本製品は [<i>Spiral cutting</i> (スパイラルカット)] で頻繁に動作します。	[<i>Spiral cutting</i> (スパイラルカット)] の強度を調整するか、必要に応じて無効にします。「 <i>Spiral cutting</i> (スパイラルカット) 23 ページ」を参照してください。
本製品が小さなエリアで数分間動作している。	本製品は GPS アシストナビゲーションに従っています。	本製品の通常の動作です。
本製品がモバイルデバイスに接続できません。	本製品が別のモバイルデバイスまたはアプリに接続されています。	接続された他のすべてのデバイスでアプリを無効にしてください。
十分芝刈りされない。	本製品の作動時間が短く設定されています。	芝刈り時間を増やしてください。「スケジュール 22 ページ」を参照してください。
		[<i>Weather timer</i> (天候タイマー)] の強度レベルを上げるか、[<i>Weather timer</i> (天候タイマー)] を無効にします。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作動時間を延長してください。「スケジュール 22 ページ」を参照してください。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。「ブレードの交換 30 ページ」を参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が堆積しています。	堆積した草を取り除き、本製品を清掃します。「シャージおよびブレードディスクの清掃 29 ページ」を参照してください。
	パターンまたはパターンの方向が、作業エリアに対して不十分です。	別のパターンの方向または別のパターンを選択します。

症状	原因	対応措置
斜面で芝が摩耗している。	勾配が急すぎます。勾配の最大許容値は45%です。	進入制限ゾーンを設置して斜面を隔離してください。
	パターンまたはパターンの方向が、斜面に対して不十分です。	別のパターンの方向または別のパターンを選択します。規則的なパターンの場合、 Husqvarna では、規則的なパターンの方向を勾配方向と平行にするのではなく、斜面を直登することを推奨しています。

8 搬送、保管、廃棄

8.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

8.2 保管

- 本製品を完全に充電します。「バッテリーの充電 27 ページ」を参照してください。
- **メインスイッチ**で本製品の接続を解除します。「本製品をオフにする方法 27 ページ」を参照してください。
- 製品を清掃します。「製品の清掃 29 ページ」を参照してください。
- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- 保管中は、すべてのホイールを水平な場所に置いたままにするか、または Husqvarna ウォールハンガーを使用してください。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源を取り外します。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクタを外さないでください。

8.3 廃棄

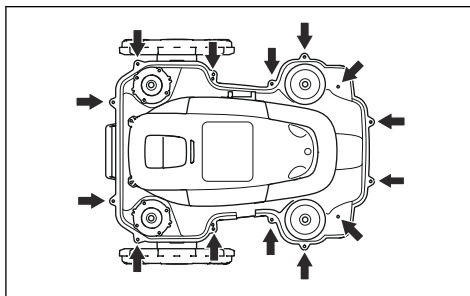
- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーの取り外し方法については、バッテリーの取り外し方法 43 ページを参照してください。

8.3.1 バッテリーの取り外し方法

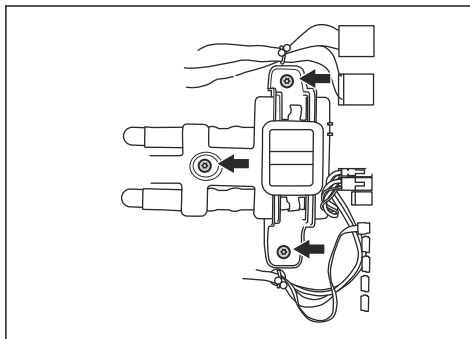


注意： バッテリーは、製品を廃棄するときのみ取り外してください。保証シールを外すと、Husqvarna の保証は適用されなくなります。

1. **メインスイッチ**で本製品の接続を解除します。「本製品をオフにする方法 27 ページ」を参照してください。
2. 充電ケーブルのグロメットを製品の正面に引き出し、コネクタを慎重に取り外します。
3. カバーを持ち上げます。角を 1 つずつ持ち上げてください。
4. 14 本のネジをトルクス 20 で外します。



5. シャーシ上部の後端を持ち上げます。
6. メイン回路基板からケーブルを取り外します。
7. シャーシの上部を取り外します。
8. バッテリーを固定している 3 本のネジをトルクス 20 で外します。



9. メイン回路基板からバッテリーの接続を取り外します。

9 主要諸元

9.1 主要諸元

寸法	Automower® 520 EPOS	Automower® 550 EPOS
長さ (cm/インチ)	72/28.3	72/28.3
幅 (cm/インチ)	56/22.0	56/22.0
高さ (cm/インチ)	32/12.6	32/12.6
質量、kg/ポンド	13.8/30.4	13.8/30.4

電気系統	Automower® 520 EPOS	Automower® 550 EPOS
リチウムイオンバッテリー 18V、5.0 Ah、品番	593 11 84-01、593 11 85-01、593 11 84-03、593 11 84-04、593 11 84-05、593 11 84-06	593 11 84-01、593 11 85-01、593 11 84-03、593 11 84-04、593 11 84-05、593 11 84-06 (2 個) 5.0 Ah / バッテリー
電源 (28V DC)、V AC	100/240	100/240
チャージステーション用低電圧ケーブル、長さ m/フィート	10/33	10/33
最大使用時での平均エネルギー消費量、kWh/月	14	23
充電電流、A DC	2.2	7
チャージステーションの電源装置のタイプ ⁶	ADP-60PR XX、FW7438/28/D/XX/Y	FW7458/28/D/XX/Y、ADP-200MR XX
平均芝刈り時間、分	75	210
平均充電時間、分	85	60

チャージステーションのワイヤーアンテナ	Automower® 520 EPOS	Automower® 550 EPOS
動作周波数帯、Hz	100/80000	100/80000
最大磁界、dBuA/m	82	82
最大無線周波電力 ⁷ 、mW @60m	<25 mW @60 m	<25 mW @60 m

⁶ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。

⁷ 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

環境中で音響パワーとして測定した騒音排出 ⁸	Automower® 520 EPOS	Automower® 550 EPOS
知覚騒音レベル、dB (A)	62	66
計測音響騒音レベル、dB (A)	62	66
騒音排出の不確定性 K _{WA} (dB (A))	1	2
使用者の耳における音圧騒音レベル、dB (A) ⁹	54	58

芝刈り	Automower® 520 EPOS	Automower® 550 EPOS
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (5 枚)	ピボット付きカッティングブレード (5 枚)
カッティングモーターの最大回転数、r/min	2500	2500
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	30	35
刈高、cm/インチ	2~6/0.8~2.4	2~6/0.8~2.4
刈幅、cm/インチ	24/9.4	24/9.4
最狭の通過可能経路、m/フィート	2/6.5	2/6.5
作業エリアの最大角度、°	45	45
仮想境界の最大勾配、°	15	15
対応エリア - 標準 48 (不規則パターン)、m ² /エーカー	2500/0.62	5000/1.25
対応エリア - スポーツ 24 (規則的パターン)、m ² /エーカー	2500/0.62	5000/1.25
対応エリア - 標準 48 (規則的パターン)、m ² /エーカー	5000/1.25	10000/2.5
対応エリア - 最大 72 (規則的パターン)、m ² /エーカー	7500/1.85	15000/3.7
1 時間あたりの面積、充電なし、m ² /フィート ²	175/1900	300/3200

IP コード	Automower® 520 EPOS	Automower® 550 EPOS
ロボット芝刈機	IPX4	IPX4
チャージステーション	IPX1	IPX1
チャージステーションの電源	IP44	IP44

⁸ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

⁹ 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2~4 dB (A)。

対応周波数帯	
Bluetooth® 周波数帯	2400.0～2483.5 MHz
Automower® Connect 2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
Automower® Connect 4G	周波数帯 1 (2100 MHz)、周波数帯 2 (1900 MHz) 周波数帯 3 (1800 MHz)、周波数帯 4 (1700 MHz)、周波数帯 5 (850 MHz)、周波数帯 8 (900 MHz)、周波数帯 12 (700 MHz)、周波数帯 13 (700 MHz)、周波数帯 18 (850 MHz)、周波数帯 19 (850 MHz)、周波数帯 20 (800 MHz)、周波数帯 25 (1900 MHz)、周波数帯 26 (850 MHz)、周波数帯 27 (850 MHz)、周波数帯 28 (700 MHz)、周波数帯 66 (1700 MHz)、周波数帯 71 (600 MHz)、周波数帯 85 (700 MHz)
SRD868 (欧州)	863～870 MHz
SRD915 (北米)	902～928 MHz
SRD915 (オーストラリア)	915～928 MHz
SRD915 (ニュージーランド)	915～928 MHz

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	8 dBm	
Automower® Connect 2G	出力クラス 4 (GSM/E-GSM)	33 dBm
	出力クラス 1 (DCS/PCS)	30 dBm
	出力クラス E2 (GSM/E-GSM)	27 dBm
	出力クラス E2 (DCS/PCS)	26 dBm
Automower® Connect 4G	出力クラス 3	23 dBm
SRD868 (欧州)	13 dBm	
SRD915 (北米)	13 dBm	
SRD915 (オーストラリア)	13 dBm	
SRD915 (ニュージーランド)	13 dBm	

この一般的な技術データからの偏差は、国別の章に記載されています。

リモコン、無線送信機、ヒアリンググループ、地中の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性は完全には保証されません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。シリアルプレートの情報を参照してください。「製品の概要 8 ページ」を参照してください。

9.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

10 日本市場に適用可能

10.1 コンプライアンス要件

Bluetooth® モジュールおよび携帯電話通信モジュールは、本製品に内蔵されています。これらには、認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

202-SMG024



T

D210191003



AUTOMOWER® is a trademark owned by Husqvarna AB.
Copyright© 2024 HUSQVARNA. All rights reserved.

www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1144553-79



2024-12-18